

和剣

Vol. 61

2010年 9月14日

和歌山県スポーツチャンバラ協会
〒641-0007 和歌山市小雑賀89
TEL 073-422-0308
FAX 073-427-6328

1. 紀の国わかやま国体のデモンストレーションスポーツ競技の開催について。
8月19日(木)の午後7時から、標記の議題について臨時役員会を開催。
出席役員は石上・福森・大江・山下・由良・柚岡(太)・安田。
和歌山国体準備課へ「開催意向調査書」を10月8日までに提出する必要があるため、有田市、湯浅町、串本町の3市町村の何れかを開催希望候補地に予定し、この3市町村の担当部局との接触・協議を進めることを決定。
2. 合同稽古会・和歌山大会実行委員会等のお知らせ。
9月18日(土)に本町道場で開催する第20回合同稽古会は第7回和歌山大会へ向けての実行委員会(第1回)を兼ねます。また、上記の“紀の国わかやま国体”へ取り組むための「国体デモスポ準備委員会」の立ち上げも議題となります。
3. 「指導者養成講習会(3回講習)」を下記の日程で開催します。
第1回:9月26日(日)、第2回:10月23日(土)、第3回:11月27日(土)
☆紀中地区・紀南地区での活動拠点を構築する目的を兼ねた、重要な講習会です。
出講出来る役員及び会員は石上理事長まで連絡を入れて下さい。
4. 当面の行事予定
 - ①9月18日(土):午後7時~9時(本町道場)
合同稽古会・和歌山大会実行委員会・国体デモスポ準備
 - ②9月26日(日):午後1時30分~4時30分(白浜町立西富田小学校体育館)
「指導者養成講習会(第1回)」:講師:石上・福森・大江・安田
 - ③10月3日(日):午前10時~12時
和歌山大学スポーツフェスタ:講師:石上・瀧本ほか

☆ 武道における超越感覚 ☆

一般に、武道の稽古は、人間形成、とりわけ「悟り」を目指す禅の修業に結びつくとされる。＜中略＞禅の場合は、心身の修業を通じて欲望や情動をコントロールし、自己を内的に超えた無我・無心の境地に至ることが目的であり、いわば純粋な自己目的的、献身(愛他)的行為である。一方、スポーツ化した武道の場合は、敵対関係での勝利という自己主張的な目的が背後にあり、「捨て身」の技でさえ、この外的な目的を達成し、現実の状況を支配すべく、手段的になされるという側面がある。また、「間合い」とは、敵対する相手の隙をうかがって、お互いの身体を拡張し合う身体的時空間であり……
＜中略＞試合の始まりと終わりの「礼」は、逃げ道のない果たし合いを正々堂々と闘うことを誓い、最善を尽くして技と技とを共演し、学び合う相手への尊重の念、そして全能の存在(聖なるもの)への純粋な謙虚さを含む身体作法である。西村秀樹はこれを「抑制の美学」と呼んでいる。こうした武道(サムライ)の身体感覚は、日常的な身体図式を解体し、超越し、組みたて直すというはたらきをもっている。

(日下裕弘・加藤弘二著「生涯スポーツの理論と実際」株式会社 大修館書店 発行より抜粋)